

別表 受託候補者を選定するための評価基準

評価項目	評価の視点
1 業務実施方針	業務実施方針は適切で、本事業の目的を理解しているか。
2 類似業務の実績	自治体における類似業務の実績はあるか。
3 業務実施体制・人員配置	業務実施体制及び人員配置は適切で、配置予定者の資格及び実績等は十分か。
	実務経験を有する者を配置できるか。
	情報伝達・意思決定の流れが明確で、緊急時に迅速な対応が可能か。
4 業務の企画提案 (就労準備支援事業)	対象者の課題に合わせて支援計画を立て、実施できるか。
	日常生活自立、社会生活自立、就労自立等の各分野で、豊富な支援メニューを提供することができるか。
	支援メニュー及び実施方法は妥当で、効果が見込めるか。
	アウトリーチや同行支援など様々な手法で利用者にアプローチをかけることができるか。
	フリースペースの設置場所は府中市役所に近く、利便性が良いか。また、活用方法について具体的な提案があるか。
	ひきこもり支援について、具体的な提案がされているか。
	福祉専門職との連携について、具体的な提案がされているか。
	体験就労の場の開拓等、関係機関との連携や新たな資源の開拓はできるか。 自立相談支援事業や家計改善支援事業との一体的実施が確保できるか。
5 業務の企画提案 (就労支援事業)	本市の生活保護の現況や雇用情勢等を多角的に分析し十分に理解しているか。
	就労支援の内容及び実施方法は妥当で効果が見込めるか。
	就労に向けた訓練の内容は適切で効果が期待できるか。
	就労意欲を喚起させるための施策は具体的かつ独創性があるか。

	り、効果が期待できるか。
	求人開拓の方法や実現可能性は妥当か。
	職場定着支援の方法は適切か。
	対象者確保のための施策があるか。
	対象者の受入人数及び就労見込み人数は妥当か。
	精神疾患等の問題を抱える対象者への支援方法は適切か。
6 リスク管理	想定しているリスクとその対処方法は適切か。
	利用者の安全について十分配慮しているか。
	個人情報保護に関する対策は十分か。
7 見積金額	見積金額・内容は妥当か。
8 プレゼンテーション	説明や資料は論理的で分かり易く、規定に則って作成されているか。
9 その他	全体を通して企画力・構想力・説明力は十分で、質疑応答は的確か。